【目次】

地　域	No.	要　望・意　見	対応状況	担当課
夜須町	1	デジタル化と公共施設等マネジメントについて	完	総務課 情報政策課 契約管財課
夜須町	2	町内会の加入率について	完	地域支援課 各支所
夜須町	3	市のLINEチャンネルを町内会、自治会で利用できないか。	完	情報政策課 総務課
夜須町	4	羽尾に来たことがない方が結構いる。ぜひ羽尾へ来てもらいたい。	完	総務課
夜須町	5	森田正馬生家の保存、活用の取組について	完	生涯学習課

NO.	夜須町　1	対応状況	完
	デジタル化と公共施設等マネジメントについて		
受　付	令和5年4月17日　月　曜日　夜須町市民懇談会で意見聴取		
要望・意見	①　情報政策課を新設し、組織をつくりデジタル化を進めていくとある。今の市役所は、パソコンは使用しているが、情報としてはお粗末だと思う。最近はAI、ChatGPTなど、市の課題を瞬時に回答できる便利な機能などがある。市が使うのであれば有料版GPTを使うと、香南市に大きな一つのスーパーコンピューターが入ったと一緒になり、質問するとレベルにあった答えが出てくる。 ②　ChatGPTで「こういう地区ごとの要望と人口動態をみて、市として施設の残し方を計算するのではなく、すべての情報を集めて肝となるものを集積してくる。今後施設維持できなくなったからやめるということをChatGPTで計算して考えていく、自治会もそれを通じてできる。施設のここを残したい、ここはもうやめてもいいと思う人がいる。要件を入れて問い合わせをすると、それに合わせた答えが文章で出てくるということを言っている。 デジタル化の取組は課、組織をつくることも大事だが、やはりデジタルのことがわかる人材を置くことが大事で育成していくことだ。 　新たな課を2つ作ったのであれば、協議して若い人でITに詳しい人をぜひこの新設の所に入れてもらって教育をしてもらいたい。		
地域への対応状況等	■当日回答■ 【市長】 　①ご指摘のデジタル化というのは、言われた通りと思いますが、それでも私たちは進んでいかなければ、市役所自身が時代や国の流れに遅れていくということは市民の皆さまの生活の利便性を下げることになり危惧する。遅い、できていないという指摘は受けるが、そういう声を踏まえ、明日から、できていなかったことややるべきことをそれぞれの課から上げてきて、また県などのアドバイスを受けながら進めていきたい。それと指摘された職員の採用、これからの人材をいかに育て確保するかは、とても大事です。香南市は7月採用を取り入れて、人材を集めるのに苦慮している。その中でいかに良い人材を集め育てていくことが大事で、重く受け止めている。採用は注力していく。 ②私はそれをChatGPTにやらすのではなく、それを多くの職員と多くの市民の方に関わってもらいたい。できるだけ多くの市民に関わってもらいたい。多くの市民の声を聴きたい。非常にまとまりにくいと思いますが、その時、ChatGPTに頼むとより良い答えが出てくると思います。私はそれでも人と関わりたい。市民の皆さまの街の、自分たちの地域に対して、機械が追い付いていない人の気持ちというものがまちづくりに活かせたらと考えます。		
担当課	総務課 情報政策課 契約管財課		

NO.	夜須町　　　　2	対応状況	完
	町内会の加入率について		
受　付	令和5年4月17日　　月　曜日　　　　夜須町市民懇談会で意見聴取		
要望・意見	高まるとは思わない。自分の地域は何年も同じ区割りである。高齢化で人口が減っている。リーダーになる人が減り固定化している。減少している中で、隣の町内会と合併するとか、そのようなことも考えなければならない。		
地域への対応状況等	■当日回答■ 【市長】 町内会についいは、先日の香我美の地区懇で、町内会を合併していいか質問をいただいた。これはできます。 これから町内会の加入を勧めることは高齢化、人口減少の中で厳しい。その中でも中長期的にみると、ご指摘の通り再編ということになろうと思います。これはその地域の方からの声で、隣の町内会と一緒にするという形にしてもらいたい。 町内会に対して、私たちが合理的に勝手にかえていくということに対する抵抗は、それぞれの地域であると思います。まず地域から、そのためにまちづくり協議会や自治会もある。その中で話し合いをしていく。できる限り多くの方を巻き込んでいく。 その方の声により、まちづくりをどうするか決めてほしい。そのために市職員の担当地域を割り振っている。その地域の担当職員が出て、一緒になり考える。そういった機会をつかってもらいたい。		
担当課	地域支援課 各支所		

<table>
<tr><td rowspan="2">NO.</td><td>夜須町　　　　3</td><td>対応状況</td><td>完</td></tr>
<tr><td colspan="3">市のLINEチャンネルを町内会、自治会で利用できないか。</td></tr>
<tr><td>受　付</td><td colspan="3">令和5年4月17日　月　曜日　　夜須町市民懇談会で意見聴取</td></tr>
<tr><td>要望・意見</td><td colspan="3">●香南市にはLINEのチャンネルがある。できたら町内会、自治会が使るようにできないか。回覧を、連絡も希望によりLINEでお知らせすることができないか。

●近所であってもLINEグループをつくるには抵抗がある。できたら市から回覧をお知らせする機能が追加できたらいい。</td></tr>
<tr><td>地域への
対応状況等</td><td colspan="3">■当日回答■
【市長】
　LINEの活用ですが、市も公式のLINEがあり、これからはそうならざるを得ないと思う。町内会の新しい形、町内会に入るのに心理的ハードルがあるのか、新しく加入する方にはある。
　入ってくる方は若い方が多い。その方々にLINEということはいいアイデアと思う。一方、そのデジタルに心理的抵抗がある方もいる。そういうアイデアは今後、市も取り入れていかなければならないと考えている。夜須支所等ともお話をしていただいて、私も明日のデジタルの会合でこういう声があったことを取り上げてみたい。できることは簡素化、デジタル化していきたい。すぐに答えを出すことはできないが、貴重なご意見なので慎重にしていきたい。</td></tr>
<tr><td>担当課</td><td colspan="3">情報政策課
総務課</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">NO.</td><td>夜須町　　　4</td><td>対応状況</td><td>完</td></tr>
<tr><td colspan="3">羽尾に来たことがない方が結構いる。ぜひ羽尾へ来てもらいたい。</td></tr>
<tr><td>受　付</td><td colspan="3">令和5年4月17日　月　曜日　　夜須町市民懇談会で意見聴取</td></tr>
<tr><td>要望・意見</td><td colspan="3">市職員と話したとき、羽尾地区へ行ったことがないという。羽尾に来たことがない方が結構いる。ぜひ羽尾へ来てもらいたい。人間同士の繋がり、それを見てほしい。</td></tr>
<tr><td>地域への
対応状況等</td><td colspan="3">■当日回答■
【市長】
最近は職員も香南市以外に住んでいる。香南市以外の出身者も多くいる。総務課人材育成の課長補佐と話をして、今年度採用職員を私と一緒に香南市内を回る計画をしている。時期は未定。羽尾にも行くようにしたい。羽尾の魅力というもの知ってもらう。それぞれの土地の良いところを伝えていきたい。足を運ぶ機会をつくる。</td></tr>
<tr><td>担当課</td><td colspan="3">総務課</td></tr>
</table>

NO.	夜須町　5 森田正馬生家の保存、活用の取組について	対応状況	完
受　付	令和5年4月17日　月　曜日　夜須町市民懇談会で意見聴取		
要望・意見	合併当時からある話で、当時、教育委員会は香南市の中だけでやる考え方であった。森田正馬は世界的に有名な学者。香南市にはそれを活かす蓄積はない。しかし、森田療法を受け継ぐ学会はある。保存・活用はそこと連携して意見を聞く。そういうことが大事と思う。		
地域への対応状況等	■当日回答■ 【教育長】 考えはその通りである。今学会と連絡を取り合い、生家の活用、保存について今後どうするか話を進めている。生家については、建物自体に文化的価値があるか否か、判断して県や国と連絡をとり、今後どういう保存の方法を。森田博士は、日本より外国で有名な方で、そういう偉人の功績を知ってもらい。同時に香南市内の悩みを抱えている人、子どもたちに中身を知ってもらうことにより、自分を支えていく力になる。教育の面からも森田先生の力をお借りしていくことが有効だと考える。 現在、市内には不登校の子供を支援する森田村塾がある。今後、子供たちだけでなく、大人も含めた森田先生の功績が生かされるような形に繋がっていけばと考える。今後、森田正馬の生家のあり方を検討していきたい。 ■後日回答■ （1回目） ・対応日　令和5年6月27 日 （火） ・対応課　生涯学習課 森田正馬生家の保存活用計画につきましては、森田正馬保存会をはじめ日本森田療法学会や森田正馬先生にゆかりのある大学、病院等と連携を図りながら、また県内の医療関係者の方々と共に計画を進めていきたいと考えています。		
担当課	生涯学習課		